

第108期 中間報告書

[平成19年4月1日～平成19年9月30日]

Chemical Products

Laminated Sheets

Building and Housing Materials

Electronics

アイカ工業株式会社



CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 財務情報	5
中間連結決算	
中間連結貸借対照表／中間連結損益計算書	
中間連結株主資本等変動計算書	
中間連結キャッシュ・フロー計算書	
中間単独決算	
中間貸借対照表／中間損益計算書	
中間株主資本等変動計算書	
■ 会社の概要	9
■ 株式の状況	10
■ 株主メモ	裏表紙

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃よりひとかたならぬご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに、当社グループ第108期中間連結会計期間（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に設備投資は増加基調を維持し、個人消費も雇用情勢の改善で回復基調にあったものの、原材料高や米国の信用力の低い個人向け住宅融資問題を発端に景気の先行きに不透明感が広がりました。

建築業界は、平成19年6月20日の改正建築基準法の施行により建築確認および検査が厳格化されたことを機に、住宅、非住宅（事務所・店舗・工場・倉庫など）とも建築着工件数が大幅に減少いたしました。また、リフォーム需要も伸び悩み、総じて厳しい状況のうちに推移いたしました。

このような情勢のなか、当社は、市場の低迷を打開するためグループ一丸となって営業活動に鋭意努めました。また、原油価格をはじめとする資源価格高騰に伴う原材料の値上げに対処するため製品価格の是正に傾注するとともに、生産効率の向上、コスト削減、経費削減、魅力ある新商品の開発に積極的に取り組みました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は48,335百万円（前年同期比0.7%増）、経常利益は5,021百万円（前年同期比0.2%増）、中間純利益は2,908百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、2円増配し1株につき15円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、原油価格・為替相場・米国経済の動向に警戒感が広がり、個人消費の減速から国内景気の回復が遅れ、先行き懸念が拡大するものとみられます。

建築業界におきましては、改正建築基準法の影響を受け厳しい環境が続くものと考えられますが、当社グループはこのような経営環境を認識し、市場ニーズの変化に対応した研究開発戦略のさらなる展開、環境・安全配慮型商品の技術開発力の強化、グローバル市場での競争力の強化、原価低減の推進と収益力の改善をめざした構造改革に努めてまいります。また、企業価値を向上させるため内部統制システムの構築を図り、社会からより信頼される企業の実現に邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月



代表取締役会長

富田章嗣



代表取締役社長

渡辺 修

化成品セグメント

接着剤系商品は、環境配慮型商品である超低VOC（揮発性有機化合物）品の水系タイプや弾性接着剤が、壁や床の内装仕上げ用として好評を博しましたが、合板・集成材用途向け接着剤は建築市場の低迷により苦戦を強いられました。樹脂系商品は、「ジョリパットシリーズ」の天然土を使用した塗壁材「**爽土**」が自然素材志向に合致し、店舗物件を中心に多数採用されました。また、設備投資の増加に伴い硬質ウレタン塗床材「ピュール」が売上げを伸ばすとともに、土木関連商品や建築補修補強関連商品の品揃えの充実が奏効し売上げを伸ばすことができました。

なお、当セグメントは、原油価格高騰に伴う石油化学製品の値上がりやその他原材料の値上がりの影響を大きく受けたため、生産性の向上、コスト削減、価格対応などを積極的に推進したものの、度重なる値上げを十分に吸収できず収益を圧迫いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は13,314百万円（前年同期比1.3%増）となりました。



ジョリパット（外装・内装仕上塗材）

物件名：岡本ハーベスト保育園
設計：岩田章吾建築設計事務所
撮影：永石秀彦
〈外壁面への使用例〉



F☆☆☆☆（Fフォースター）対応

アイカエコエコボンド（環境配慮型接着剤）

※【F☆☆☆☆】は、ホルムアルデヒド等級の最上位規格を示すマークです（建築基準法によって使用量が制限されません）。

建築材セグメント

メラミン化粧板は、改正まちづくり三法（大規模小売店舗立地法、中心市街地活性化法、都市計画法）の施行を目前に大型ショッピングセンターの活発な出店・改装に、また、業界再編などの影響を受けた百貨店の改装に「アイカピュアコア」や「アイカカラーコア」など木口意匠に特長のある商品が内装材として多数採用されました。さらには、リアルな質感と高意匠性、木目柄のメラミン化粧板と色・柄を連動させた粘着材付塩ビフィルム「オルティノ」が、飲食チェーン店舗や百貨店・大型ショッピングセンターなどの商業施設の新築・改装に好評で、周辺商品とともに用途を広げ販路を拡大することができました。一方、化粧合板は、改正建築基準法の施行の影響を受け、新設住宅着工件数が大幅に減少し、シート合板など住宅市場向け商品は低調でした。

この結果、当セグメントの売上高は14,292百万円（前年同期比1.8%減）となりました。



オルティノ

物件名：株式会社 三越 名古屋来店
〈百貨店の改装使用例〉



アイカメラミン化粧板 オルティノ

物件名：パセーラ パウダールーム
設計：NTTファシリティーズ
（デザイン協力：株式会社 乃村工務社）
〈店舗への使用例〉

住器建材セグメント

インテリア建材は、クリニック&高齢者向けの「UD(ユニバーサルデザイン) コンフォートシリーズ」が癒しと機能の両面で好評を博し売上げを伸ばすことができました。また、メラミン化粧板を使用した「メラフュージョンシリーズ」も高い意匠性が評価され売上げを伸ばすことができました。不燃化粧材「セラール」は、新築戸建市場で競合他社との激しい価格競争に直面し苦戦を強いられましたが、リフォーム市場や学校・病院・オフィスなどの野丁場(大型施設等の大掛かりな工事)市場で、豊富な柄や加工性能、短納期対応が評価され売上げを伸ばすことができました。カウンターはメラミンポストフォーム・集成材・人工大理石の豊富な品揃えと木口処理の意匠性や具体的な用途提案により、設計業者などに評価され新規顧客を獲得することができました。

この結果、当セグメントの売上高は16,217百万円(前年同期比3.0%増)となりました。



アイカカウンター (洗面カウンター)
アイカセラール (洗面台壁面使用)



UD(ユニバーサルデザイン) コンフォートシリーズ
アイカドア (機能付引き戸)
アイカセラール (壁面使用)

電子セグメント

プリント配線板は、高速伝送や電磁波障害対策などの分野でセミナーや講演会活動を積極的に行い、医療機器や画像機器市場の分野でシミュレーションを活用した高付加価値設計を取り入れたことで高い評価を得ることができたものの、国内の半導体や産業機器を中心とした需要の落ち込みをカバーするには至りませんでした。また、電子材料は、中国や台湾向けのタッチパネル用ハードコートフィルムや携帯電話端末用インサートフィルムの量産を開始したことが奏効し売上げを伸ばすことができました。

この結果、当セグメントの売上高は3,488百万円(前年同期比2.2%減)となりました。



アイカプリント配線板
(10ギガBPS伝送評価ボード)

その他セグメント

有機微粒子は、プロジェクションTV向け光拡散用が苦戦いたしました。化粧品や塗料などの用途向けは、企業間格差はあったものの売上げは堅調でした。また、受託加工品である保存剤関係は微増にとどまりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,023百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

中間連結決算

● 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間連結 会計期間末 (平成19年9月30日現在)	前中間連結 会計期間末 (平成18年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	61,382	57,323
現金および預金	17,570	14,668
受取手形および売掛金	35,534	35,273
たな卸資産	5,604	5,135
繰延税金資産	775	756
その他	1,914	1,513
貸倒引当金	△16	△24
固定資産	28,080	28,484
有形固定資産	16,624	16,058
建物および構築物	7,288	7,018
機械装置および運搬具	3,729	3,648
工具、器具および備品	1,168	1,195
土地	3,710	3,695
建設仮勘定	725	501
無形固定資産	2,437	2,607
投資その他の資産	9,018	9,819
投資有価証券	7,501	8,341
長期貸付金	25	41
繰延税金資産	41	52
その他	1,454	1,401
貸倒引当金	△3	△18
資産合計	89,463	85,808

科 目	当中間連結 会計期間末 (平成19年9月30日現在)	前中間連結 会計期間末 (平成18年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	22,296	22,037
支払手形および買掛金	16,530	16,462
短期借入金	431	403
未払法人税等	2,021	1,810
未払消費税等	152	47
賞与引当金	1,168	1,131
その他	1,990	2,182
固定負債	1,179	1,733
繰延税金負債	338	833
退職給付引当金	323	364
その他	516	535
負債合計	23,475	23,771
純資産の部		
株主資本	63,825	59,243
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,744	13,744
利益剰余金	43,111	38,523
自己株式	△2,922	△2,915
評価・換算差額等	1,518	2,246
その他有価証券評価差額金	1,452	2,244
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	66	2
新株予約権	13	-
少数株主持分	630	547
純資産合計	65,988	62,037
負債純資産合計	89,463	85,808

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間連結会計期間 (平成19年4月1日～ 平成19年9月30日)	前中間連結会計期間 (平成18年4月1日～ 平成18年9月30日)
売上高	48,335	48,010
売上原価	35,088	34,812
販売費および一般管理費	8,400	8,257
営業利益	4,846	4,940
営業外収益	274	164
営業外費用	99	93
経常利益	5,021	5,012
特別利益	37	55
特別損失	31	179
税金等調整前中間純利益	5,027	4,888
法人税、住民税および事業税	2,033	1,768
法人税等調整額	45	△3
少数株主利益	40	46
中間純利益	2,908	3,077

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

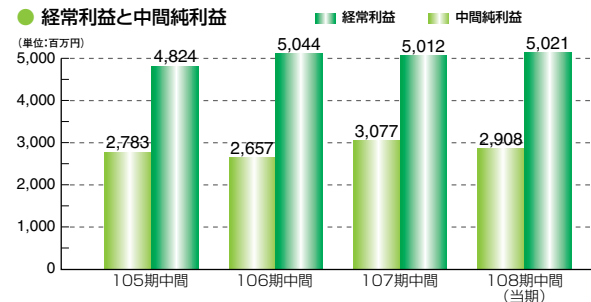
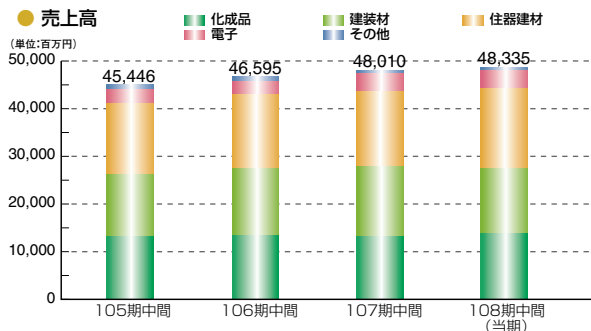
	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成19年3月31日残高	9,891	13,744	41,066	△2,919	61,783	2,273	△0	32	2,305	—	604	64,693
中間連結会計期間中の 変動額												
剰余金の配当			△863		△863							△863
中間純利益			2,908		2,908							2,908
自己株式の取得				△2	△2							△2
自己株式の処分		0		0	0							0
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の 変動額(純額)						△820	△0	33	△787	13	26	△747
中間連結会計期間中の 変動額合計	—	0	2,045	△2	2,042	△820	△0	33	△787	13	26	1,294
平成19年9月30日残高	9,891	13,744	43,111	△2,922	63,825	1,452	△1	66	1,518	13	630	65,988

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 中間連結 キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	当中間連結 会計期間 (平成19年4月1日～ 平成19年9月30日)	前中間連結 会計期間 (平成18年4月1日～ 平成18年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,561	3,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,905	△2,257
財務活動によるキャッシュ・フロー	△901	△3,993
現金および現金同等物に係る換算差額	13	△15
現金および現金同等物の増減額	2,767	△2,666
現金および現金同等物の期首残高	14,802	17,334
現金および現金同等物の中間期末残高	17,570	14,668

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



中間単独決算

● 中間貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間 会計期間末 (平成19年9月30日現在)	前中間 会計期間末 (平成18年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	57,603	53,117
現金および預金	16,218	13,158
受取手形	12,634	12,859
売掛金	22,441	21,530
たな卸資産	3,482	3,050
繰延税金資産	621	627
その他	2,222	1,914
貸倒引当金	△16	△24
固定資産	25,131	26,238
有形固定資産	11,072	11,521
建物	4,892	5,046
機械および装置	1,833	1,969
土地	2,567	2,567
その他	1,778	1,937
無形固定資産	2,273	2,554
投資その他の資産	11,785	12,162
投資有価証券	6,822	7,627
関係会社株式	3,147	3,147
関係会社出資金	443	443
その他	1,376	962
貸倒引当金	△3	△18
資産合計	82,734	79,356

科 目	当中間 会計期間末 (平成19年9月30日現在)	前中間 会計期間末 (平成18年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	20,889	20,159
支払手形	167	230
買掛金	16,397	15,734
未払法人税等	1,732	1,571
未払消費税等	126	20
賞与引当金	992	972
その他	1,474	1,630
固定負債	895	1,449
退職給付引当金	120	184
繰延税金負債	320	808
その他	454	456
負債合計	21,785	21,609

科 目	当中間 会計期間末 (平成19年9月30日現在)	前中間 会計期間末 (平成18年9月30日現在)
純資産の部		
株主資本	59,501	55,525
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,752	13,752
利益剰余金	38,779	34,797
自己株式	△2,922	△2,915
評価・換算差額等	1,434	2,221
その他有価証券評価差額金	1,435	2,220
繰延ヘッジ損益	△1	0
新株予約権	13	—
純資産合計	60,949	57,746
負債純資産合計	82,734	79,356

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間会計期間 (平成19年4月1日～ 平成19年9月30日)	前中間会計期間 (平成18年4月1日～ 平成18年9月30日)
売上高	46,212	45,847
売上原価	34,448	34,053
販売費および一般管理費	7,659	7,559
営業利益	4,103	4,235
営業外収益	489	388
営業外費用	79	79
経常利益	4,514	4,544
特別利益	37	56
特別損失	26	177
税引前中間純利益	4,524	4,423
法人税・住民税および事業税	1,710	1,500
法人税等調整額	74	△1
中間純利益	2,740	2,924

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 中間株主資本等変動計算書 当中間会計期間 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本						評 価 ・ 換 算 差 額 等			新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益			評価・換算 差額等 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	利益準備金	その他利益 剰余金(注)							
平成19年3月31日残高	9,891	13,277	475	1,622	35,278	△2,919	57,626	2,260	△0	2,260	—	59,887
中間会計期間中の 変動額												
剰余金の配当					△863		△863					△863
中間純利益					2,740		2,740					2,740
自己株式の取得						△2	△2					△2
自己株式の処分			0			0	0					0
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の 変動額(純額)								△825	△0	△825	13	△812
中間会計期間中の 変動額合計	—	—	0	—	1,877	△2	1,875	△825	△0	△825	13	1,062
平成19年9月30日残高	9,891	13,277	475	1,622	37,156	△2,922	59,501	1,435	△1	1,434	13	60,949

(注) その他利益剰余金の内訳

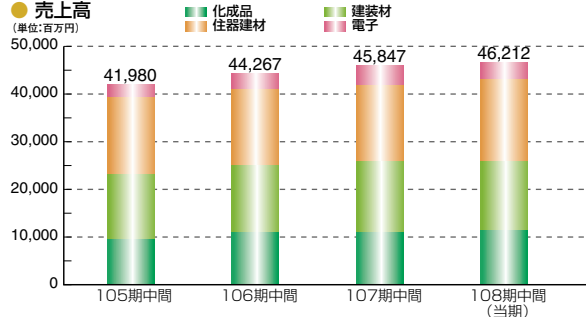
(単位:百万円)

	配当準備 積立金	退職 積立金	圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	合計
平成19年3月31日残高	99	220	186	16,657	18,115	35,278
中間会計期間中の変動額						
別途積立金の積立				319		319
圧縮積立金の取崩			△0		0	—
配当準備積立金の取崩	△99					△99
退職積立金の取崩		△220				△220
剰余金の配当					△863	△863
中間純利益					2,740	2,740
中間会計期間中の変動額合計	△99	△220	△0	319	1,878	1,877
平成19年9月30日残高	—	—	186	16,976	19,993	37,156

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

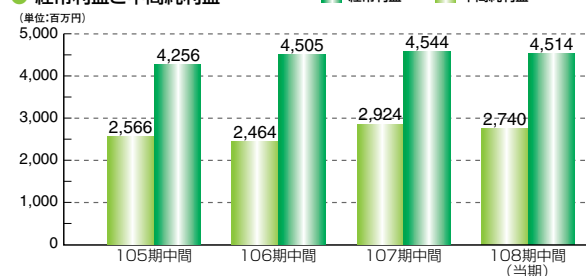
● 売上高

(単位:百万円)



● 経常利益と中間純利益

(単位:百万円)



プロフィール

- 社名 アイカ工業株式会社
- 本社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電話 052(409)8000〔案内〕
- 設立 昭和11年10月20日
- 資本金 98億9,170万8,792円
- 事業所

[生産拠点] 本社工場(愛知県) 甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県) 広島工場(広島県)

茨城工場(茨城県)

[開発拠点] R&Dセンター(愛知県)

R&Dセンター福島(福島県)

[営業拠点]

札幌支店(北海道) 仙台支店(宮城県) 盛岡営業所(岩手県)
 福島出張所(福島県) 東京支店(東京都) 埼玉支店(埼玉県)
 横浜支店(神奈川県) 宇都宮営業所(栃木県) 千葉営業所(千葉県)
 柏出張所(千葉県) 北関東支店(群馬県) 新潟営業所(新潟県)
 松本営業所(長野県) 名古屋支店(愛知県) 静岡支店(静岡県)
 金沢支店(石川県) 大阪支店(大阪府) 神戸支店(兵庫県)
 京滋営業所(京都府) 広島支店(広島県) 岡山営業所(岡山県)
 高松支店(香川県) 福岡支店(福岡県) 鹿児島営業所(鹿児島県)
 関東支店(東京都) 中部支店(愛知県) 関西支店(大阪府)
 京橋オフィス(東京都)

■連結子会社

[会社名]	[所在地]	[主な事業内容]
アイカインテリア工業株式会社	愛知県	住器建材製造
アイカハリマ工業株式会社	兵庫県	建装材・住器建材製造
アイカ電子株式会社	岐阜県	電子製品製造
ガンツ化成株式会社	大阪府	化成品・その他製造販売
アイカインドネシア社	インドネシア	化成品・建装材・住器建材製造販売
テクノウッドインドネシア社	インドネシア	建装材製造

■主要製品

[化成品セグメント]

外装・内装仕上塗材、塗床材、塗壁材、各種接着剤など

[建装材セグメント]

メラミン化粧板、化粧合板など

[住器建材セグメント]

玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンター、不燃化粧材、収納扉など

[電子セグメント]

プリント配線板、電子システム商品、電子材料など

[その他セグメント]

有機微粒子、保存剤など

取締役・監査役および執行役員

[代表取締役会長] 富田 章 嗣

[代表取締役社長] 渡 辺 修

[専務取締役] 野 田 近

[常務取締役] 佐 治 一 良

[取締役] 岩 田 照 徳

[取締役] 堀 田 益 之

[取締役] 森 永 博 之

[取締役] 伊 東 善 光

[常勤監査役] 深 田 卓 朗

[常勤監査役] 酒 井 眞 孝

[監査役] 佐 藤 純 二

[監査役] 福 井 清 晃

[監査役] 浦 部 康 資

[執行役員] 岩 瀬 幸 廣

[執行役員] 相 馬 治 夫

[執行役員] 田 中 彰

[執行役員] 小 野 勇 治

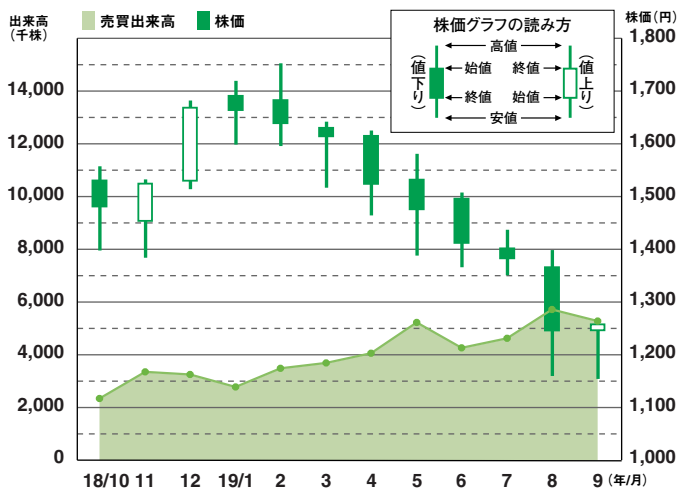
[執行役員] 岡 田 賢 児

[執行役員] 阿久根 善 裕

(注) 監査役 佐藤純二氏、福井清晃氏、浦部康資氏は、社外監査役であります。

● 発行済株式の総数…69,890,664株

株価・出来高の推移 (東京証券取引所)



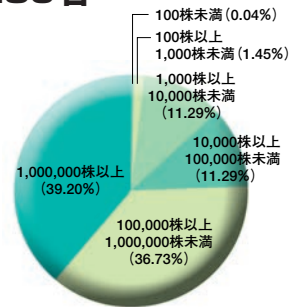
大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,108	5.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,186	4.55
東京海上日動火災保険株式会社	1,863	2.66
ゴールドマンサックスインターナショナル	1,654	2.36
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイ ロンドンエスエルオムニバスアカウント	1,460	2.08
アイカ工業取引先持株会	1,421	2.03
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,387	1.98
ルクセンブルグオフショアジャスディックレンディング アカウント	1,342	1.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	1,336	1.91
住友生命保険相互会社	1,318	1.88

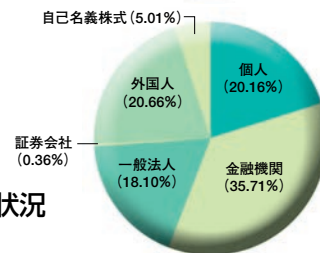
※当社は、自己株式3,505千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

● 株主数…9,239名

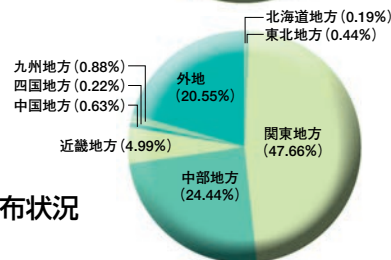
所有株数別 株式分布状況



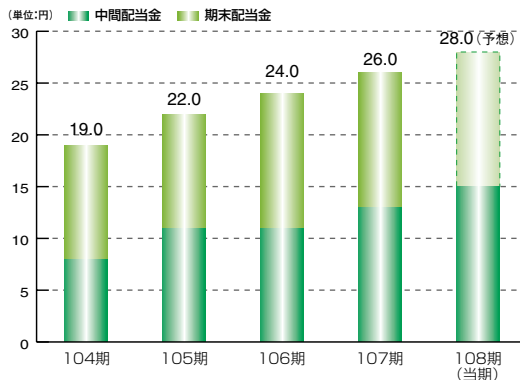
所有者別 株式分布状況



地域別 株式分布状況



配当金の推移



住まい空間を演出する



株主メモ

■ 事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■ 株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-7111(通話料無料)
■ 同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
■ 上場証券取引所	東京・名古屋

- 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.aica.co.jp/>

● 株式に関する手続き用紙のご請求について

株式関係のお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式の買取および買増の請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間受け付けております。

電話 0120-244-479[本店証券代行部] (通話料無料)

電話 0120-684-479[大阪証券代行部] (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取り引きの証券会社にてご照会ください。